

9 小数でわる計算

(1) 整数÷小数

基本の確かめ

整数÷小数のわり算の計算の仕方を考えよう。

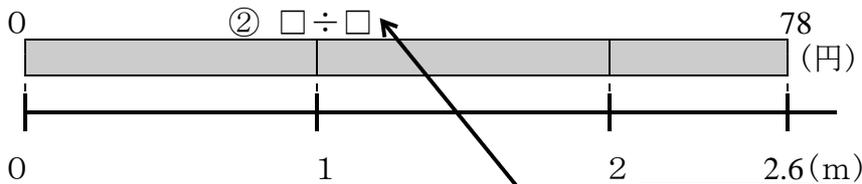
① リボン 2.6 m の代金が 78 円です。このリボン 1 m のねだんはいくらでしょう。

● 代金と長さが分かっていて、1 m のねだんを求めるから、わり算になる。

代金と長さと 1 m のねだんを使って、言葉の式で表すと

① ÷ =

1 m のねだんをテープ図を使って考えると、



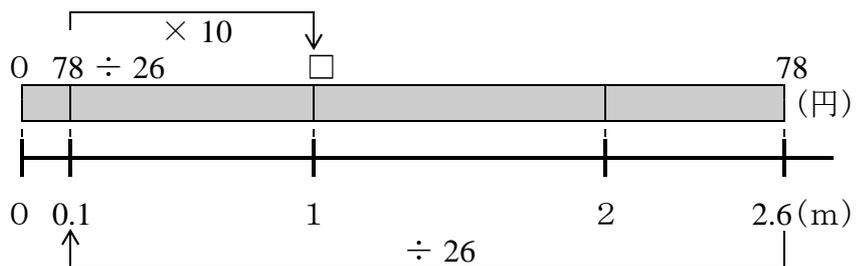
1 m のねだんを求める式は、

② ÷

③ 78 ÷ 2.6 の計算のしかたを考えるのに、たけしさんとかおりさんは、次のように考えました。二人の式は次のようになります。

たけしさん

ぼくは、0.1 m の代金から 1 m のねだんを求めたよ。



2.6 m は 0.1 m の

倍、0.1 m の代金は ÷

1 m のねだんは、0.1 m の代金の

倍だから、 リボン 0.1 m のねだん

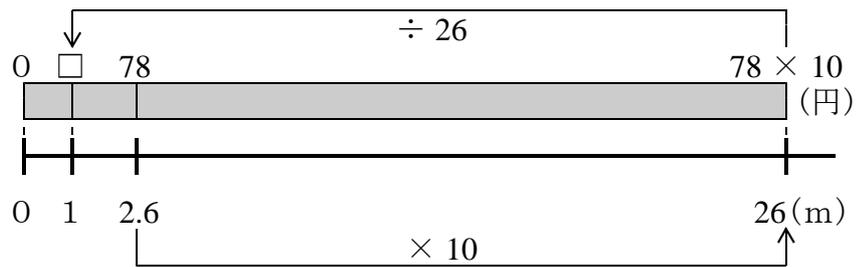
78 ÷ 2.6 = ÷ ×

リボン 0.1 m のねだん

= 答え 円

かおりさん

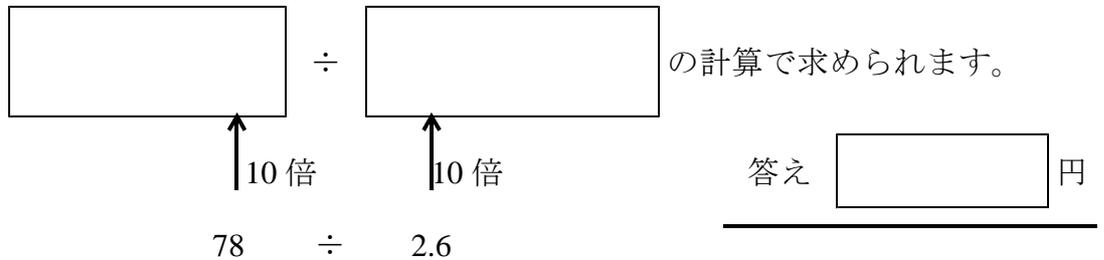
わたしは、2.6 mの10倍の26 mの代金から1 mのねだんを求めたよ。



$78 \div 2.6 =$

$(78 \times 10) \div (\quad \times \quad)$
26 mのねだん

かおりさんの式から、 $78 \div 2.6$ の商は、わられる数とわる数を10倍した



整数÷小数の計算は、わる数とわられる数に同じ数をかけて、
 小数を整数に直し、整数÷整数のわり算の計算の式に直して考えていけばよい。

ステップ1

② リボン 1.4 mの代金が70円でした。このリボン1 mのねだんはいくらでしょう。

代金と長さが分かっている、1 mのねだんを求めるから、わり算になる。

だから式は、 $\square \div \square$

わる数が小数だから、わる数とわられる数を10倍して考えると、

$70 \div 1.4 = (70 \times \square) \div (\square \times \square)$

$= \square$ 答え \square 円

基本の確かめ

整数÷0. □のわり算の計算の仕方を考えよう。

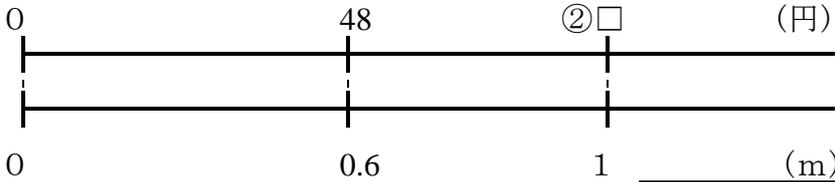
③ リボン 0.6 mの代金が 48 円です。このリボン 1 mのねだんはいくらでしょう。

● **代金**と**長さ**が分かっている、**1 mのねだん**を求めるから、わり算になる。

代金と**長さ**と**1 mのねだん**を使って、言葉の式で表すと

① ÷ =

1 mのねだんを数直線を使って考えると、



1 mのねだんを求める式は、 ② ÷

③ 計算すると、 $48 \div 0.6 = (48 \times 10) \div (\text{ } \times \text{ })$

= $480 \div \text{ }$

= 答え 円

整数÷0. □のように、わる数が1より小さい小数でも、わり算を使うことができ、その計算は、わる数とわられる数に同じ数をかけて、小数を整数に直し、整数÷整数のわり算の計算の式に直して考えていけばよい。

ステップ1

④ 次の計算をしましょう。

① $7 \div 0.2 = \text{ }$

② $28 \div 0.5 = \text{ }$

③ $76 \div 0.4 = \text{ }$

基本の確かめ

整数÷小数の筆算の仕方を考えよう。

⑤ 3.6 mの鉄のぼうの重さをはかったら、18kg でした。
この鉄のぼう 1 mの重さは何 kg でしょう。

● 全体の重さと長さが分かっている、1 mの重さを求めるから、わり算になる。

全体の重さと長さと 1 mの重さを使って、言葉の式で表すと

① ÷ =

② 計算すると、

③ 18 ÷ 3.6 の計算は、
筆算で次のようにします。
□にあてはまる数を書きましょう。

18 ÷ 3.6

= (18 × 10) ÷ (×)

= 180 ÷

=

答え kg

3.6) 18

× 10 × 10

3.6) 180

3.6) 180

 0

ステップ 1

⑥ 次のわり算を筆算で計算しましょう。

① 19 ÷ 3.8 = ② 24 ÷ 1.5 = ③ 57 ÷ 0.3 =

3.8) 19

1.5) 24

0.3) 57

(2) 小数÷小数

基本の確かめ

小数÷小数のわり算の計算の仕方を考えよう。

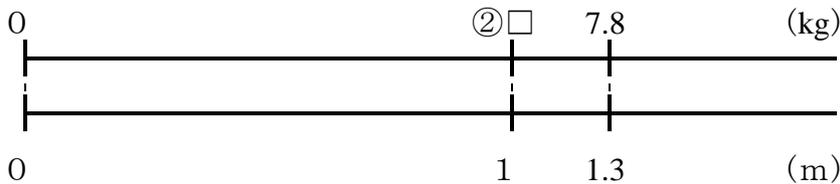
7 1.3 mの鉄のパイプの重さをはかったら、7.8kg でした。
この鉄のパイプ 1 mの重さは何 kg でしょう。

● 全体の重さと長さが分かっている、1 mの重さを求めるから、わり算になる。

全体の重さと長さと 1 mの重さを使って、言葉の式で表すと

① ÷ =

1 mの重さを数直線を使って考えると、



1 mの重さを求める式は、 ② ÷

③ 計算すると、

④ 18 ÷ 3.6 の計算は、
筆算で次のようにします。
□にあてはまる数を書きましょう。

7.8 ÷ 1.3

= (7.8 × 10) ÷ (×)

= 78 ÷

=

答え kg

1.3) 7.8

× 10 × 10

1.3) 7.8

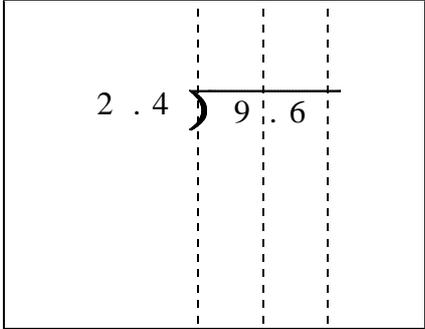
□

0

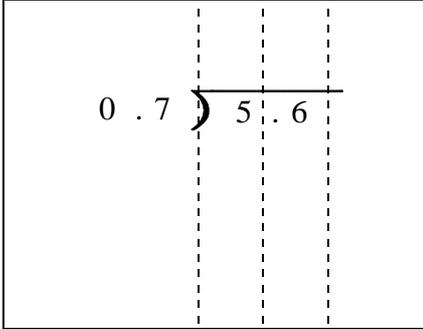
ステップ1

8 次のわり算を筆算で計算しましょう。

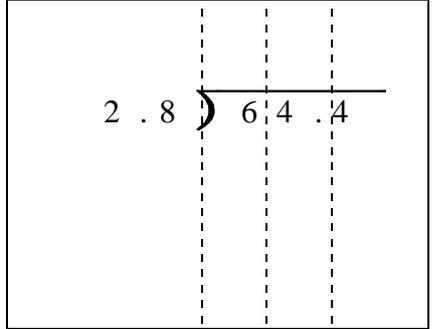
① $9.6 \div 2.4 =$



② $5.6 \div 0.7 =$

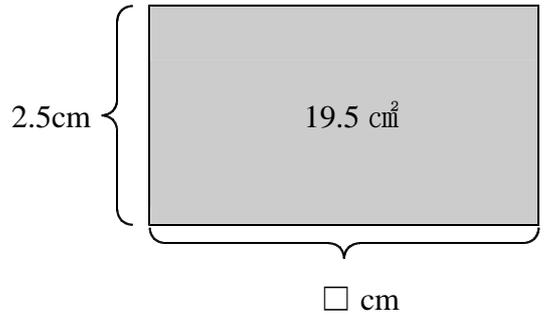
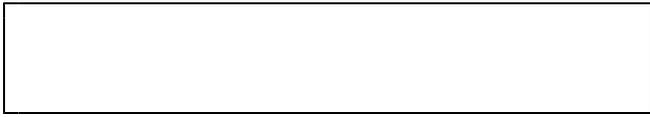


③ $64.4 \div 2.8 =$



9 次のような長方形の横の長さを求めましょう。

① 式は



② わりきれるまで計算すると、

$$\begin{array}{r}
 \times 10 \\
 \hline
 2.5 \overline{) 19.5} \rightarrow 25 \overline{) 195} \\
 \hline
 \times 10
 \end{array}$$

$$\rightarrow 2.5 \overline{) 19.5}$$

$$\rightarrow 2.5 \overline{) 19.5}$$

【小数でわる計算は、筆算で次のようにします。】

- ① わる数の小数点を右に移して、整数にする。
- ② わられる数の小数点も、わる数の小数点と同じだけ右に移す。
- ③ わる数が整数のときと同じように計算し、商の小数点は、わられる数の右に移した小数点にそろえてうつ。

0

③ 答え cm

10 わりきれるまで計算しましょう。

① $25.2 \div 7.2 =$

A large box for handwriting practice. It contains the division problem $7.2 \overline{) 25.2}$ with a solid horizontal line above the numbers. Vertical dashed lines are placed at the positions of the decimal points and the digits 2, 5, and 2. The number 7.2 is on the left, and 25.2 is on the right.

② $9 \div 2.5 =$

A large box for handwriting practice. It contains the division problem $2.5 \overline{) 9}$ with a solid horizontal line above the numbers. Vertical dashed lines are placed at the positions of the decimal point and the digits 2, 5, and 9. The number 2.5 is on the left, and 9 is on the right.

③ $1.4 \div 5.6 =$

A large box for handwriting practice. It contains the division problem $5.6 \overline{) 1.4}$ with a solid horizontal line above the numbers. Vertical dashed lines are placed at the positions of the decimal points and the digits 1, 4, and 4. The number 5.6 is on the left, and 1.4 is on the right.

ステップ3

11 わりきれるまで計算しましょう。

① $2.47 \div 3.8 =$

A large box for handwriting practice. It contains the division problem $3.8 \overline{) 2.47}$ with a solid horizontal line above the numbers. Vertical dashed lines are placed at the positions of the decimal points and the digits 2, 4, and 7. The number 3.8 is on the left, and 2.47 is on the right.

② $0.12 \div 7.5 =$

A large box for handwriting practice. It contains the division problem $7.5 \overline{) 0.12}$ with a solid horizontal line above the numbers. Vertical dashed lines are placed at the positions of the decimal points and the digits 0, 1, and 2. The number 7.5 is on the left, and 0.12 is on the right.

③ $0.42 \div 5.6 =$

A large box for handwriting practice. It contains the division problem $5.6 \overline{) 0.42}$ with a solid horizontal line above the numbers. Vertical dashed lines are placed at the positions of the decimal points and the digits 0, 4, and 2. The number 5.6 is on the left, and 0.42 is on the right.



(小数) ÷ (小数) は、どちらも整数に直さなくても、わる数を整数に直すだけでも、(小数) ÷ (整数) になるから、計算することができるね。

12 計算のまちがいを見つけて、正しく計算しましょう。

① $21 \div 3.5 = 0.6$

② $6.3 \div 8.4 = 7.5$

3 . 5)	2 1 0	0 . 6
		2 1 0	
		0	

8 . 4)	6 3 0	7 . 5
		5 8 8	
		4 2 0	
		4 2 0	
		0	

↓ : 正しい計算

↓ : 正しい計算

① $21 \div 3.5 =$

② $6.3 \div 8.4 =$

3 . 5)	2 1	
-------	---	-----	--

8 . 4)	6 . 3	
-------	---	-------	--

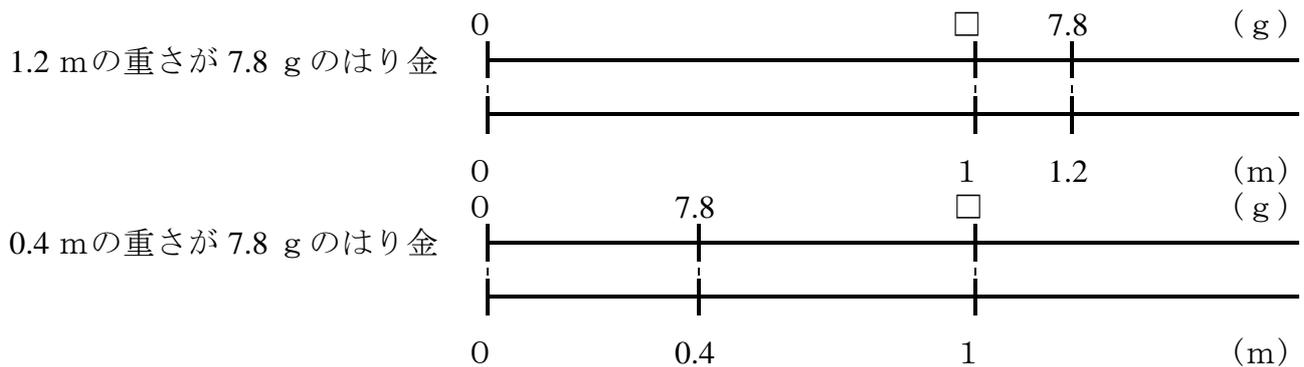
【商の大きさ】

基本の確かめ

わる数と商の関係を調べよう。

- 13 1.2 mの重さが7.8 gのはり金と、0.4 mの重さが、7.8 gのはり金があります。それぞれの1 mの重さを、7.2 gと比べましょう。

1 mの重さを数直線を使って考えると、



- ① それぞれの1 mの重さを求めて、7.2 gと比べると

1.2 mの重さが7.8 gのはり金 $7.8 \div 1.2 =$ (g)で7.2 gより小さい。

0.4 mの重さが7.8 gのはり金 $7.8 \div 0.4 =$ (g)で7.2 gより大きい。

わる数が1より大きいときは、商はわられる数より小さくなります。
わる数が1より小さいときは、商はわられる数より大きくなります。

ステップ2

- 14 大きい方はどちらでしょう。

① $3.5 \div 1.4$, 3.5 答え

(計算スペース)

② $0.9 \div 0.4$, 0.9 答え

(計算スペース)

ステップ1

16 商を小数第1位まで求めて、あまりもだしましょう。

① $2.5 \div 0.9 =$ ② $8.7 \div 2.6 =$ ③ $47 \div 3.8 =$

0.9) 2.5

2.6) 8.7

3.8) 47

ステップ2

17 2.3 \square のペンキでかべをぬったら、3.4 m^2 ぬれました。
このペンキ1 \square で、何 m^2 のかべをぬれるでしょう。
商を四捨五入して、小数第1位まで求めましょう。



① 式

② ①の式を筆算で計算すると、商を四捨五入して、
小数第1位まで求めるのだから、商を

小数第 位まで計算して、小数第 位

を四捨五入すればよい。

③ 答え 約 m^2

四捨五入するときは、
その下の位の数を四捨五
入すればいいんだね。

Blank vertical grid for long division calculation with a horizontal line for the decimal point.

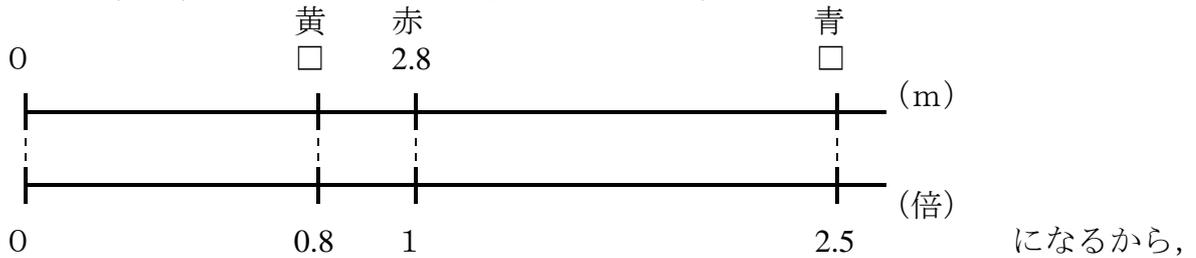
(3) 小数倍とかけ算, わり算

基本の確かめ

小数倍について考えよう。

18 赤いテープの長さは, 2.8 mで, 青のテープの長さは, 赤いテープの長さの 2.5 倍です。
 また, 黄色のテープの長さは, 赤いテープの長さの 0.8 倍です。
 青と黄色のテープの長さは, それぞれ何mでしょう。

① 数直線に赤, 青, 黄のテープの関係を表してみると,



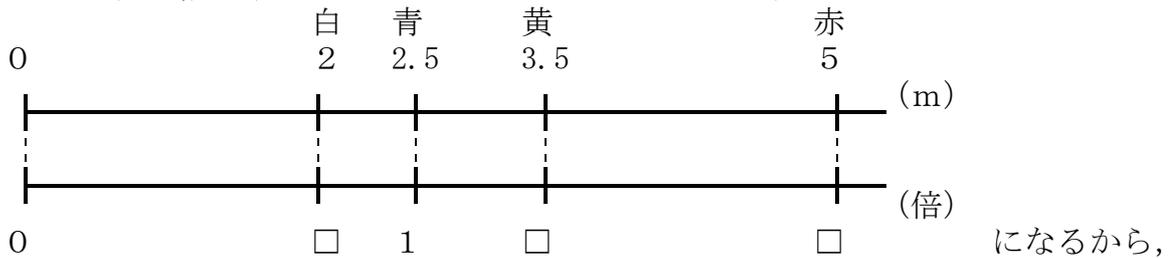
青のテープの長さを求める式は, = (m)

黄のテープの長さを求める式は, = (m)

19 次のような4本のテープがあります。
 赤, 黄, 白のテープの長さは, それぞれ
 青いテープの長さの何倍でしょう。

【テープの色と長さ】			
赤……………	5 m	黄……………	3.5 m
青……………	2.5 m	白……………	2 m

① 数直線に赤, 黄,, 白, 青のテープの関係を表してみると,



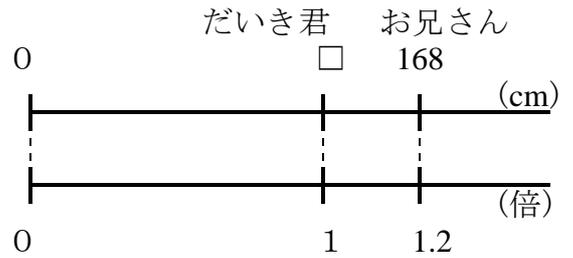
赤のテープの長さを求める式は, = (倍)

黄のテープの長さを求める式は, = (倍)

白のテープの長さを求める式は, = (倍)

20 だいき君のお兄さんの身長は 168cm で、だいき君の身長の 1.2 倍です。
だいき君のお兄さんの身長は何 cm でしょう。

- ① 数直線に表すと、右のようになるから、
だいき君の身長を □ cm として、
かけ算の式に表すと、



$$\square \times \boxed{} = \boxed{}$$

$$\square = \boxed{}$$

$$= \boxed{}$$

答え cm

ステップ1

21 たけしさんの家から駅までの道のりは、2 km です。
これは、家からバス停までの道のりの 0.5 倍です。
家からバス停までの道のりは何 km でしょう。バス停までの道のりを □ km として、
かけ算の式に表して答えをもとめましょう。

(式) $\boxed{} = 2$

$$\square = \boxed{}$$

答え km

$$= \boxed{}$$

答 え の ペ ー ジ

(1) 整数÷小数

基本の確かめ

整数÷小数のわり算の計算の仕方を考えよう。

① リボン 2.6 m の代金が 78 円です。このリボン 1 m のねだんはいくらでしょう。

● 代金と長さが分かっていて、1 m のねだんを求めるから、わり算になる。

代金と長さと 1 m のねだんを使って、言葉の式で表すと

①

代	金
---	---

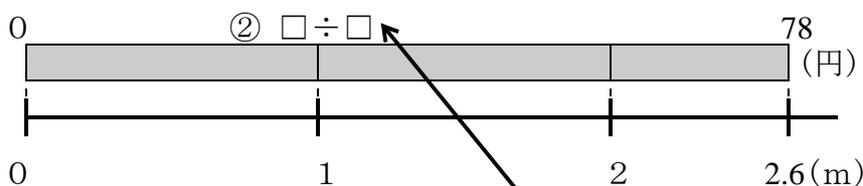
 ÷

長	さ
---	---

 =

1 m のねだん

1 m のねだんをテープ図を使って考えると、



1 m のねだんを求める式は、

②

78

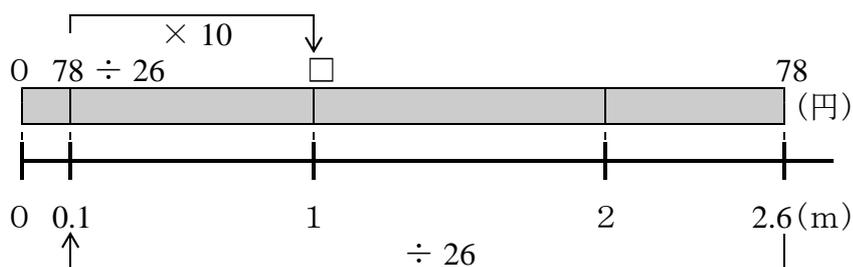
 ÷

2.6

③ 78 ÷ 2.6 の計算のしかたを考えるのに、たけしさんとかおりさんは、次のように考えました。二人の式は次のようになります。

たけしさん

ぼくは、0.1 m の代金から 1 m のねだんを求めたよ。



2.6 m は 0.1 m の

10

倍、0.1 m の代金は

78

÷

26

1 m のねだんは、0.1 m の代金の

10

倍だから、

リボン 0.1 m のねだん

78 ÷ 2.6 =

78

 ÷

26

 ×

10

リボン 0.1 m のねだん

=

30

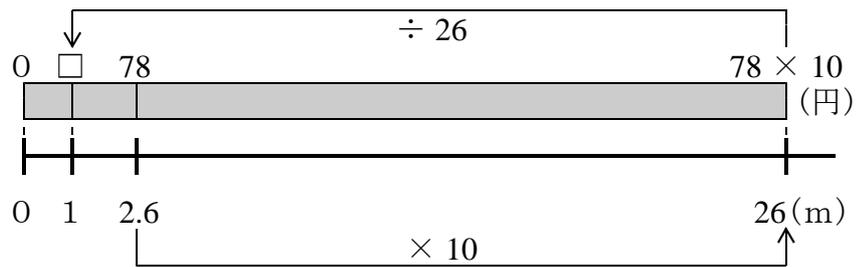
答え

30

円

かおりさん

わたしは、2.6 mの10倍の26 mの代金から1 mのねだんを求めたよ。



$$78 \div 2.6 = \frac{(78 \times 10)}{\text{26 mのねだん}} \div (\boxed{2.6} \times \boxed{10})$$

かおりさんの式から、 $78 \div 2.6$ の商は、わられる数とわる数を10倍した

$$\boxed{780} \div \boxed{26} \text{ の計算で求められます。}$$

↑10倍 ↑10倍

$$78 \div 2.6$$

答え 30 円

整数÷小数の計算は、わる数とわられる数に同じ数をかけて、
 小数を整数に直し、整数÷整数のわり算の計算の式に直して考えていけばよい。

ステップ1

② リボン1.4 mの代金が70円でした。このリボン1 mのねだんはいくらでしょう。

代金と長さが分かっている、1 mのねだんを求めるから、わり算になる。

だから式は、 70 ÷ 1.4

わる数が小数だから、わる数とわられる数を10倍して考えると、

$$70 \div 1.4 = (70 \times \boxed{10}) \div (\boxed{1.4} \times \boxed{10})$$

$$= \boxed{50}$$

答え 50 円

基本の確かめ

整数÷0. □のわり算の計算の仕方を考えよう。

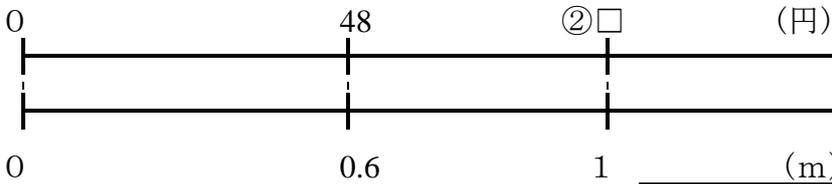
③ リボン 0.6 mの代金が 48 円です。このリボン 1 mのねだんはいくらでしょう。

● **代金**と**長さ**が分かっている、**1 mのねだん**を求めるから、わり算になる。

代金と**長さ**と**1 mのねだん**を使って、言葉の式で表すと

① 代 金 ÷ 長 さ = 1 mのねだん

1 mのねだんを数直線を使って考えると、



1 mのねだんを求める式は、 ② 4 8 ÷ 0 . 6

③ 計算すると、 $48 \div 0.6 = (48 \times 10) \div ($ 0 . 6 \times 1 0 $)$

= $480 \div$ 6

= 8 0

答え 8 0 円

整数÷0. □のように、わる数が1より小さい小数でも、わり算を使うことができ、その計算は、わる数とわられる数に同じ数をかけて、小数を整数に直し、整数÷整数のわり算の計算の式に直して考えていけばよい。

ステップ1

④ 次の計算をしましょう。

① $7 \div 0.2 =$ 3 5

② $28 \div 0.5 =$ 5 6

③ $76 \div 0.4 =$ 1 9 0

基本の確かめ

整数÷小数の筆算の仕方を考えよう。

⑤ 3.6 mの鉄のぼうの重さをはかったら、18kg でした。
この鉄のぼう 1 mの重さは何 kg でしょう。

● **全体の重さ**と**長さ**が分かっている、**1 mの重さ**を求めるから、わり算になる。

全体の重さと**長さ**と**1 mの重さ**を使って、言葉の式で表すと

① 全体の重さ ÷ 長さ = 1 mの長さ

② 計算すると、

③ 18 ÷ 3.6 の計算は、
筆算で次のようにします。
□にあてはまる数を書きましょう。

18 ÷ 3.6

= (18 × 10) ÷ (3.6 × 10)

= 180 ÷ 36

= 5

答え 5 kg

$$\begin{array}{r} 3.6 \overline{) 18} \\ \underline{ 18} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 180 \\ \underline{ 180} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \overline{) 180} \\ \underline{180} \\ 0 \end{array}$$

ステップ 1

⑥ 次のわり算を筆算で計算しましょう。

① 19 ÷ 3.8 = 5 ② 24 ÷ 1.5 = 16 ③ 57 ÷ 0.3 = 190

$$\begin{array}{r} 3 \overline{) 190} \\ \underline{190} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1 \overline{) 240} \\ \underline{150} \\ 90 \\ \underline{90} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0 \overline{) 570} \\ \underline{300} \\ 270 \\ \underline{270} \\ 0 \end{array}$$

(2) 小数÷小数

基本の確かめ

小数÷小数のわり算の計算の仕方を考えよう。

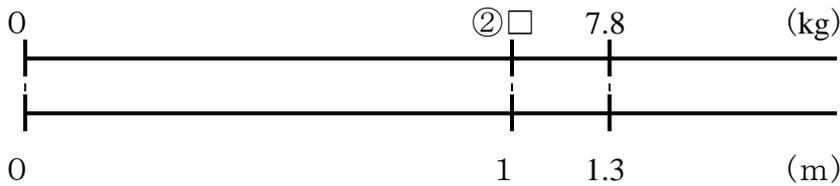
7 1.3 mの鉄のパイプの重さをはかったら、7.8kg でした。
この鉄のパイプ 1 mの重さは何 kg でしょう。

● 全体の重さと長さが分かっている、1 mの重さを求めるから、わり算になる。

全体の重さと長さと 1 mの重さを使って、言葉の式で表すと

① 全体の重さ ÷ 長さ = 1 mの長さ

1 mの重さを数直線を使って考えると、



1 mの重さを求める式は、 ② 7.8 ÷ 1.3

③ 計算すると、

④ 18 ÷ 3.6の計算は、
筆算で次のようにします。
□にあてはまる数を書きましょう。

7.8 ÷ 1.3

= (7.8 × 10) ÷ (1.3 × 10)

= 78 ÷ 13

= 6

答え 6 kg

$$1.3 \overline{) 7.8}$$

× 10
× 10

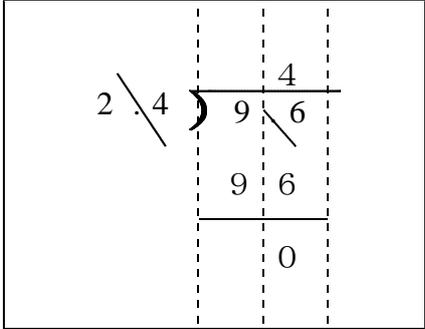
$$1 \overline{) 78}$$

$$1 \overline{) 78} \begin{array}{r} 6 \\ \underline{78} \\ 0 \end{array}$$

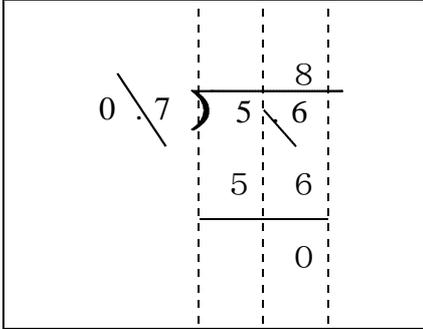
ステップ1

⑧ 次のわり算を筆算で計算しましょう。

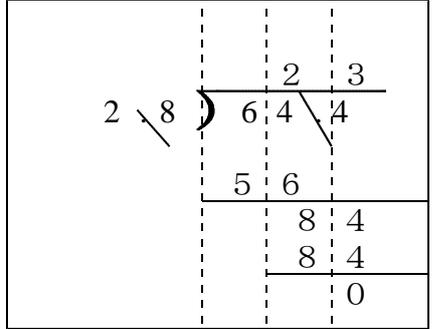
① $9.6 \div 2.4 =$ 4



② $5.6 \div 0.7 =$ 8



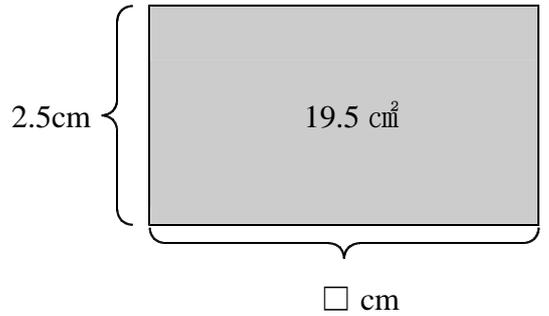
③ $64.4 \div 2.8 =$ 23



⑨ 次のような長方形の横の長さを求めましょう。

① 式は

$19.5 \div 2.5$



② わりきれのまで計算すると、

$2.5 \overline{) 19.5} \xrightarrow{\times 10} 25 \overline{) 195} \xrightarrow{\times 10} 25 \overline{) 1950}$

$2.5 \overline{) 19.5} \rightarrow 25 \overline{) 195} \rightarrow 25 \overline{) 1950}$

【小数でわる計算は、筆算で次のようにします。】

① わる数の小数点を右に移して、整数にする。

② わられる数の小数点も、わる数の小数点と同じだけ右に移す。

③ わる数が整数のときと同じように計算し、商の小数点は、わられる数の右に移した小数点にそろえてうつ。

$25 \overline{) 1950}$

7
8

175
0

200
0

200
0

0
0

③ 答え 7.8 cm

10 わりきれるまで計算しましょう。

① $25.2 \div 7.2 =$ 3 5

$$\begin{array}{r}
 \backslash 2 \\
 7 \\
 \hline
 2 \\
 \hline
 3 \\
 3 \\
 \hline

 \end{array}$$

② $9 \div 2.5 =$ 3 . 6

$$\begin{array}{r}
 \\
 2 \\
 \hline
 7 \\
 \hline
 1 \\
 1 \\
 \hline

 \end{array}$$

③ $1.4 \div 5.6 =$ 0 . 2 5

$$\begin{array}{r}
 \\
 5 \\
 \hline
 1 \\
 \hline
 2 \\
 2 \\
 \hline

 \end{array}$$

ステップ3

11 わりきれるまで計算しましょう。

① $2.47 \div 3.8 =$ 0 . 6 5

$$\begin{array}{r}
 \\
 3 \\
 \hline
 2 \\
 2 \\
 \hline
 1 \\
 1 \\
 \hline

 \end{array}$$

② $0.12 \div 7.5 =$ 0.016

$$\begin{array}{r}
 \\
 7 \\
 \hline
 0 \\
 \\
 \hline
 7 \\
 \\
 \hline
 4 \\
 4 \\
 \hline

 \end{array}$$

③ $0.42 \div 5.6 =$ 0.075

$$\begin{array}{r}
 \\
 5 \\
 \hline
 0 \\
 \\
 \hline
 3 \\
 \\
 \hline
 2 \\
 2 \\
 \hline

 \end{array}$$



(小数) ÷ (小数) は、どちらも整数に直さなくても、わる数を整数に直すだけでも、(小数) ÷ (整数) になるから、計算することができるね。

12 計算のまちがいを見つけて、正しく計算しましょう。

① $21 \div 3.5 = 0.6$

② $6.3 \div 8.4 = 7.5$

3.5	210	0.6
		210
		0

84	630	7.5
		588
		420
		420
		0

↓ : 正しい計算

↓ : 正しい計算

① $21 \div 3.5 =$ 6

② $6.3 \div 8.4 =$ 0.75

3.5	210	6
		210
		0

84	630	0.75
		588
		420
		420
		0

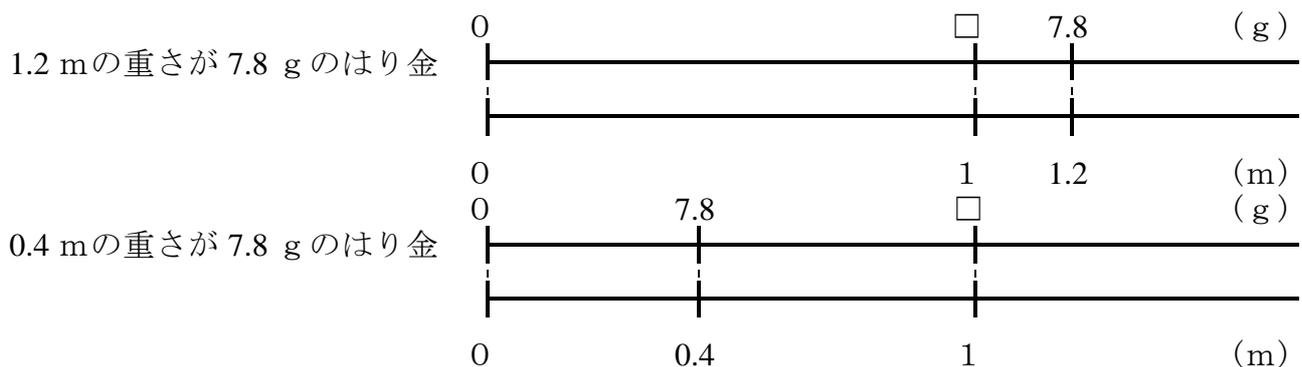
【商の大きさ】

基本の確かめ

わる数と商の関係を調べよう。

- 13 1.2 mの重さが7.8 gのはり金と、0.4 mの重さが、7.8 gのはり金があります。それぞれの1 mの重さを、7.2 gと比べましょう。

1 mの重さを数直線を使って考えると、



- ① それぞれの1 mの重さを求めて、7.2 gと比べると

1.2 mの重さが7.8 gのはり金 $7.8 \div 1.2 =$ (g)で7.2 gより小さい。

0.4 mの重さが7.8 gのはり金 $7.8 \div 0.4 =$ (g)で7.2 gより大きい。

わる数が1より大きいときは、商はわられる数より小さくなります。
わる数が1より小さいときは、商はわられる数より大きくなります。

ステップ2

- 14 大きい方はどちらでしょう。

① , 答え

(計算スペース)

② , 答え

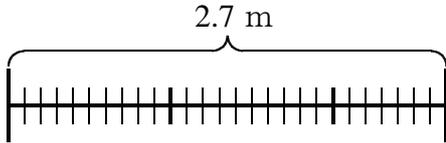
(計算スペース)

(3) あまりのあるわり算

基本の確かめ

あまりの求め方を考えよう。

- 15 2.7 mのひもを、0.6 mずつ切ってアクセサリーをつくります。
 0.6 mのひもは何本切り取れるでしょう。
 また、何mあまるでしょう。



- 何本とれるか求める式は、

① 2.7 ÷ 0.6

- ② この式を筆算で求めて、□にあてはまる数を書きましょう。

$$0.6 \overline{) 2.7}$$

この数は、

0.1 が 3 つ分

$$\begin{array}{r} \square \\ 0.6 \overline{) 2.7} \\ \underline{2.4} \\ 0.3 \end{array}$$

← 3

$$\begin{array}{r} \square \\ 0.6 \overline{) 2.7} \\ \underline{2.4} \\ 0.3 \end{array}$$

- ③ だから、
 答え 4 本取れて、 0.3 mあまる。

- ④ 答えの確かめをしてみると、

$$0.6 \times \boxed{4} + \boxed{0.3} = \boxed{2.7} \text{ (m)}$$

あまりを求めるときは、0.1 や 0.01 がいくつ分あるか考えていけばよい。
 小数のわり算では、あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうちます。

ステップ1

16 商を小数第1位まで求めて、あまりもだしましょう。

① $2.5 \div 0.9 =$ 2.7あまり0.07 ② $8.7 \div 2.6 =$ 3.3あまり0.12 ③ $47 \div 3.8 =$ 12.3あまり0.26

$0 \setminus 9$	$2 \setminus 5$	2.7
		1 8
		7 0
		6 3
		7

$2 \setminus 6$	$8 \setminus 7$	3.3
		7 8
		9 0
		7 8
		1 2

$3 \setminus 8$	$4 \setminus 7$	12.3
		3 8
		9 0
		7 6
		1 4 0
		1 1 4
		2 6

ステップ2

17 2.3 \square のペンキでかべをぬったら、3.4 m^2 ぬれました。
このペンキ1 \square で、何 m^2 のかべをぬれるでしょう。
商を四捨五入して、小数第1位まで求めましょう。



① 式 3.4 \div 2.3

② ①の式を筆算で計算すると、商を四捨五入して、
小数第1位まで求めるのだから、商を

小数第 2 位まで計算して、小数第 2 位

を四捨五入すればよい。

③ 答え 約 1.3 m^2

四捨五入するときは、
その下の位の数を四捨五
入すればいいんだね。

$1.$	3	5
	2	5
	3	4
	2	3
	9	0
	7	8
	1	2 0
	1	1 5

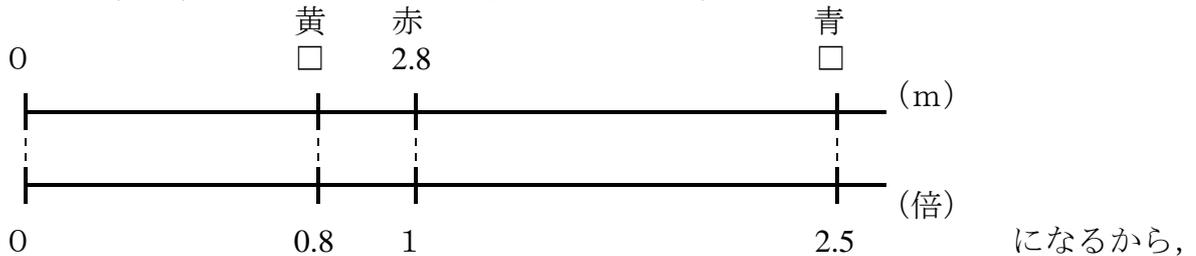
(3) 小数倍とかけ算, わり算

基本の確かめ

小数倍について考えよう。

18 赤いテープの長さは, 2.8 mで, 青のテープの長さは, 赤いテープの長さの 2.5 倍です。
 また, 黄色のテープの長さは, 赤いテープの長さの 0.8 倍です。
 青と黄色のテープの長さは, それぞれ何mでしょう。

① 数直線に赤, 青, 黄のテープの関係を表してみると,



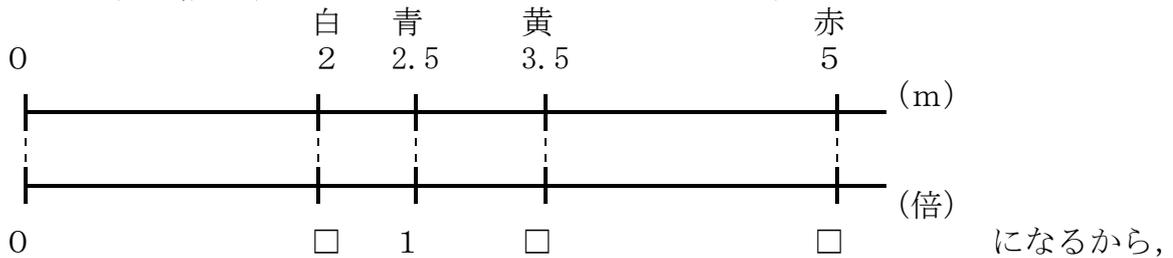
青のテープの長さを求める式は, $2.8 \times 2.5 = 7$ (m)

黄のテープの長さを求める式は, $2.8 \times 0.8 = 1.96$ (m)

19 次のような4本のテープがあります。
 赤, 黄, 白のテープの長さは, それぞれ
 青いテープの長さの何倍でしょう。

【テープの色と長さ】					
赤	5 m	黄	3.5 m
青	2.5 m	白	2 m

① 数直線に赤, 黄,, 白, 青のテープの関係を表してみると,



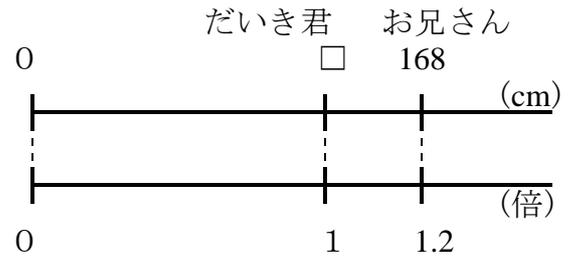
赤のテープの長さを求める式は, $5 \div 2.5 = 2$ (倍)

黄のテープの長さを求める式は, $3.5 \div 2.5 = 1.4$ (倍)

白のテープの長さを求める式は, $2 \div 2.5 = 0.8$ (m)

20 だいき君のお兄さんの身長は168cmで、だいき君の身長の1.2倍です。
だいき君のお兄さんの身長は何cmでしょう。

① 数直線に表すと、右のようになるから、
だいき君の身長を□cmとして、
かけ算の式に表すと、



$$\square \times 1.2 = 168$$

$$\square = 168 \div 1.2$$

$$= 140$$

答え 140 cm

ステップ1

21 たけしさんの家から駅までの道のりは、2kmです。
これは、家からバス停までの道のりの0.5倍です。
家からバス停までの道のりは何kmでしょう。バス停までの道のりを□kmとして、
かけ算の式に表して答えをもとめましょう。

(式) $\square \times 0.5 = 2$

$$\square = 2 \div 0.5$$

答え 4 km

$$= 4$$